

# 八木きよみ

2024  
新春発行  
VOL.1



## 県議会レポート

### ■ ごあいさつ ■

この度の令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様、並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、消防・警察・自衛隊の皆様、自治体職員の皆様、地域自治組織の皆様等、救助や復旧にご尽力いただいている皆様方に御礼申し上げます。

新潟県議会議員となり9ヶ月が経ちます。この間、コロナ禍から日常へと移行する中、不安定な世界情勢に翻弄される経済により、エネルギーと物価の高騰は県民生活に大きな影響を及ぼしておりま

す。また記録的な猛暑と少雨により、基幹産業である農業へのダメージは深刻なものでありました。新潟県は現在、財政再建の途上ではありますが、農業のインフラ整備、地域医療の充実、観光の高付加価値化等、12月定例会にて一般質問を行いました。

どんな立場の人も幸せに暮らせる地域、安心して子育てできる環境、様々な世代の方が活躍できる社会を目指し、皆様の声を県政に繋げて参ります。

新潟県議会議員 **八木清美**

令和5年12月定例会

## 八木の一般質問と花角知事の答弁 抜粋

### 1 地域医療の提供体制について

**(八木)** 県内観光事業者からは、合宿などの誘致においては、万が一の怪我や急病の際に、迅速に医療を受けることができる環境の有無が、他地域との競争において、重要であるとの声を聞いています。**地域における医療提供体制の検討**に当たっては、こうした**観光客等の住民以外の医療ニーズも踏まえ**



たうえで、検討を進める必要があると考えますが、知事の所見を伺います。

**(知事)** 医療計画の策定や地域医療構想調整会議等における議論の際には、**県外の患者も含めた受療動向や診療実績等のデータを活用**するとともに、**地域の実情をよく知る医療関係者や市町村にも参画**をいただいております。今後とも幅広い医療ニーズを想定しながら医療提供体制の検討を進めてまいります。

### 2 高温・渇水被害対策について

**(八木)** 今年の夏場の高温・渇水については、県内において農作物の生産に大きな影響を与えましたが、地域においては今後の被害を防止するため、協議会等を立ち上げ、対策を検討しているところと伺います。県として、この**夏の渇水による農作物への被害をどのように捉えているか**伺うとともに、**地域が講じる対策を支援する必要がある**と考えますが、知事の所見を伺います。

**(知事)** 今夏の異常高温・渇水による**農林水産業への影響**は、米の1等級比率の大幅な低下や作柄不良に加え、農地のひび割れの発生など、**災害級とも言える被害と認識**しております。市町村では、地域の実情に合った支援策を講じていると承知しており、県といたしましても、次期作に向けた**取組を後押しする観点での支援策**を12月定例会にお諮りしているところであります。引き続き、市町村と連携して、**県及び市町村双方の支援策の活用を農**

業者に働きかけながら、**農地の復旧や営農継続に向けた取組を支援**してまいります。

### 3 県政の諸課題について

**(八木)** 妙高市の笹ヶ峰ダムについては、国が設置し、県が管理を行っているところでありますが、完成から40年以上経過し、国においてダムに堆積した土砂の撤去を検討しており、その処理方法について、住民から不安の声が上がっています。国と連携しながら地元である妙高市が**撤去した土砂の処理方法**の調整に当たっているところと伺います。しかしながら、**住民は河川への流出や国立公園の自然環境への影響などを懸念**しているとのことであり、ダムの管理者である**県としても、県民の安全と安心を確保するため、撤去した土砂の適切な処理について、国、妙高市、土地改良区等と連携して取り組むべき**と考えますが、知事の所見を伺います。

**(知事)** 笹ヶ峰ダムは、完成から40年以上経過し、多くの土砂が堆積していることから、ダムを設置した国において、対応を検討しております。そのなかで、国は、堆積土砂をダムの周辺で処理することも検討しており、自然環境や景観への影響について、地元住民が懸念していると聞いております。**県といたしましては、市や土地改良区とも連携し、地元住民の理解が得られるよう、国に対して働きかけ**てまいります。



一般質問の詳細をご覧になりたい方は、**<公式サイト> 活動記録**をご覧ください。

